

【敢闘賞・特別賞】

「物価変動体感アクティビティ」

～Mission in キッサニア～

東京経済大学	経営学部	高橋	亜美
〃	経済学部	和泉	裕己
〃	経済学部	清水	孝志
〃	経済学部	今井	靖人

(提言の要約)

日本銀行は物価変動に働きかけているが、私たちが物価そのものを学ぶ機会が少ないように思う。物価を人々が深く理解することで、世の中はどのように変わるのか。物価をどう学んでいけば良いか。これらの疑問が私たちの出発点である。

物価変動は買い手と売り手、借り手と貸し手に反対方向の影響を与える。人々はそのどちらの立場にもなり得るため、「物価の安定」こそが重要である。

人々が形成する「期待インフレ」は人々の消費行動と密接に関わり、物価変動にも深く関わる重要な要素である。2013年に日銀が導入したインフレターゲットは、消費者の期待に働きかける金融政策であり、日銀も期待インフレを重要視している。

しかし、期待インフレを形成する一般の人々が、実際の物価の把握や将来予測をうまくできていないという現状がある。私たちは、この物価認識のズレが近年のデフレスパイラルを深刻化させていたのではないかと考えた。そして、不必要な経済的攪乱の防止や金融政策の効果増大のためには、特に、経済や金融の感覚や知識が未成熟な若者の物価認識を改善することが重要だと考えた。

そこで私たちは、日銀とキツザニアの協力のもと、6日間でキツザニアでの子供たちの行動の観察や分析によって物価について学ぶ、高校生を対象とした「物価変動体感アクティビティ」を提案する。アクティビティ期間を通じて日毎にキツザニアの物価を動かし、それによるキツザニアでの子供たちの行動変化を高校生に分析をしてもらい、レポートを作成してもらおうというものである。

初日は、アクティビティの全体説明と物価の知識習得のための学習を行う。2日目は、基準物価での子供たちの行動データを元に、今後の予想について話し合う。3日目～5日目は、価格変更後子供たちの行動がどう変化したかについて、分析や議論を行ってもらおう。5日目は、全期間の行動分析をレポートにまとめてもらう。最終日には、日銀総裁等の前で発表を行い、日銀見学も行う。

それと同時に、物価学習に繋がる子供向けの「おまけアクティビティ」も提案する。これは、出題される物価の問題に対して二者択一で進んでいくものである。物価変動を化物と捉え、それを倒す(物価安定の達成)ことを目的とし、物価変動の恐さを認識できる。

「物価変動体感アクティビティ」を行うことで、高校生たちの物価認識改善が期待される。キツザニアは、日銀との協力により集客効果が見込める。子供たちは楽しみながら物価について学べる。また、人々の物価認識の改善により不必要な経済的攪乱が減り、日銀が人々の期待に働きかける金融政策の効果増大も見込める。私たちの提案で、若者たちに、日銀の働きや物価と人々の生活が密接に関わっていることを理解してもらいたい。そして、人々の経済的意思決定が的確になることで、日本経済が明るい方向に向うことを願ってやまない。

1. はじめに

「デフレスパイラルからの脱却」、「インフレターゲット 2%」、「消費者物価指数の上昇」…、近年物価に関するニュースをよく耳にするが、前向きな印象のものは少ないと感じる。デフレと聞くと不況を懸念し、インフレと聞くと生活費高騰を嘆く。果たして、望ましい物価水準とはどのようなものなのだろうか。また、物価に働きかけているのは日本銀行であり、物価のコントロールのために様々な金融政策を行っている。物価そのものについて学ぶ機会は少ないが、金融政策については中学校や高校、大学でも頻繁に学習されている。しかし、そもそもの物価についてよく知っていなければ、金融政策や日本銀行についても本当には理解できないのではないか。物価について人々が深く理解するようになると、世の中はどのように変わるのか。物価についてはどのように学んでいけば良いか。これらの疑問が私たちの出発点である。

2. 物価の不思議

2 - 1. 物価に関する素朴な疑問

物価とは、様々な商品やサービスなどの価格を総合的に表す数値のことである。通常、個々の財の価格ではなく、経済全体での一般的な価格水準を指し、統計的な指数で捉えられる(図表 1 参照)。お店で購入する商品だけではなく、働いて稼ぐ賃金も物価に含まれる価格の 1 つである。

私たちは、日頃物価に対して次のような疑問を抱いてきた。「モノの値段は安ければ安いほど良いのではないか」、「経済の状態は、好景気やインフレーションが良いのではないか」、「物価は変動せず安定の状態が良いのではないか」。しかし結局の所、どのような状態が最善であるのかが分からない。これらの疑問点は、各々矛盾しているようにも思える。

2 - 2. 「物価の安定」の重要性と日本銀行の役割

日本銀行は金融政策を通して「物価の安定」を目指している(図表 2 参照)。

では、なぜ変動が良くないのか。インフレーションの下では、モノの値段が全体的に上がり、お金の価値が下がる。物価上昇により、商品の売り手は売り上げが増える。お金の借り手は、実質的な返済額が少なくて済む。したがって、インフレーションではモノの売り手とお金の借り手が得をすることになる(図表 3 参照)。ただし、過度なインフレーションが起こるとお金の価値が急激に下がり、モノが売れなくなったり、貯蓄し辛くなったりする。

反対にデフレーションの下では、モノの値段が全体的に下がる。物価下落により、商品の買い手は出費を抑えることができる。お金の貸し手は、戻ってく

るお金の実質的な価値が高くなる。したがって、デフレーションではモノの買い手とお金の貸し手が得をすることになる(図表 4 参照)。しかし過度なデフレーションが起こると、貰える給料が下がることで消費活動の抑制に繋がってしまったり、返済の滞りが発生してしまったりする。

このように、物価変動は買い手と売り手、借り手と貸し手に反対方向の影響を与える。ここで大事なのは、人々はそのどちらにもなり得るという点である。このどちらにもなり得るという立場で考えた時、「物価の安定」の重要性が分かってくる。さらには、長期的な意思決定の局面まで考えると、その重要性はより明確である。以上のことから、過度な物価変動は経済に悪影響を及ぼす。このような物価変動が起こらないように、しっかりとコントロールしておく必要がある。この役割を果たす機関を「中央銀行」と言い、日本では日本銀行がこれにあたる。

3. 物価変動と期待インフレとの関係：正しい物価認識の重要性

物価変動は主に生産者、消費者、交易、貨幣量の変化という様々な要因から起きる。それぞれの変化と物価変動との関係については図表 5、6 で詳しく説明しているが、その中でも私たちは消費者の期待インフレに注目する。消費者はこれから物価がどう変動するか、ある程度予想しながら行動している。消費者の期待インフレは消費行動と密接に繋がっていて、消費行動の変化は物価変動に直結するため、期待インフレは物価変動に必要な不可欠な要素である。

2013 年日本銀行はインフレターゲットとして、「2 年程度を目安に CPI(消費者物価水準)の上昇率 2%を目指す」と発表した。経済が上向き傾向になるまで強い意志で金融政策を行い続けることをほのめかすことで、消費者の期待に働きかけようとしている。ここから日本銀行もまた、期待インフレを重要だと捉えていることが分かる。

しかし私たちは、肝心の期待インフレを形成する一般の人々が実際の物価の把握や、将来予測をうまくできていないという記事を見つけた(図表 7)。グラフを見ると、これまでの日本経済はデフレ不況だと言われていたにも関わらず、消費者は物価が持続的に下落しているとは感じておらず、現在の物価に対する人々の実感は、実際の消費者物価変化率と比べて非常に高くなっている。1 年後の物価予想についても同じである。デフレ状態は通常、物価も給料も安い。しかし消費者は、「物価は下がっていない」と錯覚している。つまり、消費者の認識では「給料が下がったのにモノの価格は一定」となってしまう、これではモノを買う購買欲も徐々に低下する。

このように私たちは実体経済の低迷のみでなく、人々の物価認識のズレが、

近年のデフレスパイラルを深刻化させていたのではないかと考えた(図表 8、9 参照)。そこから不必要な経済の攪乱の防止や期待インフレに働きかける金融政策の効果増大のためには、人々の物価についての認識の改善が重要であるとの考えに至った。特に、経済や金融についての感覚や知識が未成熟な若者たちの物価認識を改善することが大事であると考えた。

4. 私たちの提案

4-1. 私たちの提案

私たちは、日本銀行とキッザニアの協力のもと、6日間でキッザニアでの子供たちの行動の観察、分析によって物価について学んでもらうという、高校生を対象とした「物価変動体感アクティビティ」を提案する(図表 10 参照)。

この「物価変動体感アクティビティ」は、グループワークで行う。具体的なグループ構成としては、高校生5名を1グループとし、1グループにつき、日本銀行の職員の方1名にサポート役についてもらう。アクティビティの様々な場面において日本銀行の方には考え方のヒントの提示や質問への応答等のサポートを行ってもらう。そして、アクティビティ期間の6日間を通じて日毎にキッザニアの物価を動かし、それによるキッザニアでの子供たちの行動変化を高校生に分析してもらい、レポートを作成してもらう。最終日には、そのレポートの発表大会を行う。

4-2. キッザニアの利用と日本銀行のサポートを考えた理由

キッザニアは、子供たちを対象とした就業体験ができるテーマパークであり、ここでは子供たちは買い手、売り手のどちらかのみでなく、双方の立場になって行動する(図表 11、12、13、14 参照)。すなわち、ここには実体経済と類似する一種の箱庭経済が存在しており、経済全体の俯瞰による観察及び分析に適し、それが、マクロ指標でありなかなか捉えにくい物価の理解に繋がると考えた。また、このアクティビティのサポート役には、やはり物価の専門家である日本銀行の方々がふさわしいと考えた。その上、人々への正しい物価認識の啓蒙は、日本銀行の目的とも適合するはずである。図表 15 は、現在日本銀行が行っている、若者たちへの金融教育の取り組みをまとめたものである。

4-3. キッザニアの物価を動かす際の子供たち、親の理解について

しかし、キッザニアの利用には課題もあると考えられる。キッザニアの物価を変動させることは可能なのか、可能であってもそれを利用する子供たちとその両親は納得するだろうか。また、子供たちの行動データをアクティビティに

使用することは可能なのだろうか。キッザニアにメリットはあるのだろうか。

これらについては、高校生のアクティビティも兼ねているという説明を事前にキッザニアの HP 上で行う(図表 16 参照)。子供たちにもこの期間には期間限定のアクティビティを提供する、期間限定でボーナスを設ける、期間限定のキッズを用意する等のフォローを行っていきたいと考えている。このような教育上の積極的なイベントの実施は、キッザニアにとっても大きな宣伝効果が生まれるはずである。

4 - 4. アクティビティのスケジュール

4 - 4 - 1. スケジュール初日について

図表 17 は、期間中のキッザニア内の価格の動かし方と、各参加者の各日の行動を表にしたものである。図表 18 は、価格の動かし方についての具体案が提示されている。

初日は、主にアクティビティの流れを知るための全体説明と、2 日目以降の議論や分析のテーマとなる物価について基礎学習を行う。また、初日にはグループに分かれての自己紹介、交流等も行い、これによってアクティビティのさらなる効率化を図る。

4 - 4 - 2. スケジュール 2~5 日目について

2 日目には、基準物価での子供たちの行動データ、すなわち初日の行動データを元に、今後の予想について話し合う。3~5 日目には、価格変更後の子供たちの行動データ、すなわち 2~4 日目の行動データを元に、その変化について分析及び議論を行ってもらう。また、5 日目には、それまでの行動分析をレポートにまとめてもらう。

4 - 4 - 3. スケジュール最終日について

最終日に行うことは、日銀総裁等の前での発表及び日銀見学である。発表はグループ毎に行い、日銀総裁とサポート役の日銀職員に評価をしてもらう。優秀なグループには優秀賞が、それ以外の参加者には参加賞が贈られる。終了後、全員で記念撮影を行う。

日本銀行は、様々な見学会を日々実施している(図表 19 参照)。私たちも論文作成中、実際に日銀見学に参加させていただいた。そして、見学までの間、日本銀行について様々な学習を行った。この過程によって、日銀見学がより効果的なものとなった。このアクティビティでも、物価、お金、金融についての学習意欲がピークの段階で日銀見学を行うことで、同様の効果が期待できると考

えている。

4-5. おまけアクティビティとは

私たちの提案する物価変動体感アクティビティはあくまで高校生中心である。しかし、そのためには子供たちの協力が必要である。だからこそ、彼らにもメリットのあるもの、できれば物価学習に繋がるものを提供したいと考えた。

「おまけアクティビティ」とは、テレビのクイズ番組にあるような「選択式冒険アクティビティ」である(図表 20 参照)。これは、出題される物価の問題に対して 2 択の選択肢のどちらかを選び、進んでいくアクティビティである。ここで重要なのは楽しさである。楽しみながら取り組めるからこそ、子供たちにも物価について学んでもらえろと考えた。そこで、物価変動を化物と捉え、それを倒す(物価の安定を達成する)ことを目的とする冒険式アクティビティにした。これによって、子供たちは物価変動の恐さをイメージとして認識できる。物価変動の恐さのイメージが頭の片隅にでも記憶されていれば、物価学習のきっかけ作りは成功していると考えられる。高校生がアクティビティを実施している期間中は毎日行うものとする。

5. 提案に期待される効果

「物価変動体感アクティビティ」を行うことで、これから日本の未来を担っていく若者たちに物価認識の重要性を理解させることができると期待される。また、舞台となるキッズニアは日本銀行と協力して行うことによるイメージアップ、更なる集客効果が見込めるだろう。キッズニアに参加している子供は楽しみながら物価について感覚的に知ることができる。そして、人々の物価認識が改善すれば、デフレスパイラルの深刻化のような不必要な経済的攪乱が減ることや、日本銀行が現在行っている人々の期待インフレに働きかける金融政策の効果増大も見込まれる。これらをまとめたものが図表 21 である。

6. おわりに

私たち一般の個人が賢く経済的な意思決定を行うためには、なかなか捉えにくい物価について正しい認識をすることが不可欠である。本論文では物価に関する素朴な疑問と、物価に対する認識のズレを出発点とした。「物価変動体感アクティビティ」を通して、日本の若者たちに、日本銀行の働きについてはもちろん、物価と人々の行動は密接に関わっていることを理解してもらいたい。そして、人々の経済的意思決定がよりの確になることで、日本経済が良い方向に向かっていくことを願ってやまない。

◇参考文献

◇ 2 節

- ・『新しい物価理論：物価水準の財政理論と金融政策の役割』、岩波書店、渡辺努、岩村充著、2004年2月
- ・『物価 古今東西 第1回 物価の種類～代表的な物価指数～』2013年4月号、農林中金総合研究所、竹光大士
- ・『消費者物価指数のしくみと見方～平成22年基準消費者物価指数～』、総務省統計局、2011年8月
- ・『よくわかる経済指標「GDPデフレーター」』、日本経済研究センター、経済調査部 新家義貴
- ・『気になる指標「GDPデフレーター」～総合的な物価の動きを示す指標～』2005年7月号、農林中金総合研究所、木村俊文
- ・SMBC日興証券HP、2014年9月25日閲覧
(<https://www.smbcnikko.co.jp/terms/eng/g/E0044.html>)
- ・日本銀行HP「教えて！にちぎん」2014年9月26日閲覧
(<http://www.boj.or.jp/announcements/education/oshiete/seisaku/b29.htm/>)
- ・総務省統計局HP 2014年9月26日閲覧
(<http://www.stat.go.jp/>)
- ・man@bow 経済について楽しく学べる!! 2014年9月26日閲覧
(<http://manabow.com/index.html>)

◇ 3 節

- ・『経済統計：産業活動と物価変動の統計的把握』、培風館、清水雅彦・菅幹雄共著、2013年5月
- ・『デフレとインフレの経済学：グローバル化時代の物価変動と日本経済』、日本評論社、法専充男著、2009年9月
- ・『インフレ目標と金融政策』、東洋経済新報社、伊藤隆敏・林伴子著、2006年3月
- ・『消費者物価指数マニュアル：理論と実践』、日本統計協会、2005年3月
- ・『「期待インフレ率」の性格 その特性を解明・把握するのは難しい』
『日経ビジネスオンライン』2014年3月24日掲載、2014年8月22日閲覧
(<http://business.nikkeibp.co.jp/article/opinion/20140314/261151/>)

◇ 4 節

- ・ キッザニア HP

(<https://www.kidzania.jp/>)

- ・ キッザニア東京 × キッザニア甲子園

(<http://spa.s5.xrea.com/kidzania/index.htm>)

- ・ 日本銀行 HP

(<http://www.boj.or.jp/index.html/>)

図表 1：代表的な物価指数の概要

代表的な物価指数

消費者物価指数(CPI)

私たち消費者が購入する商品の価格動向を示すもの。日用品のほかに、家賃や電話代などのサービスの価格の動きも含まれる。総務省統計局が作成している。

企業物価指数(CGPI)

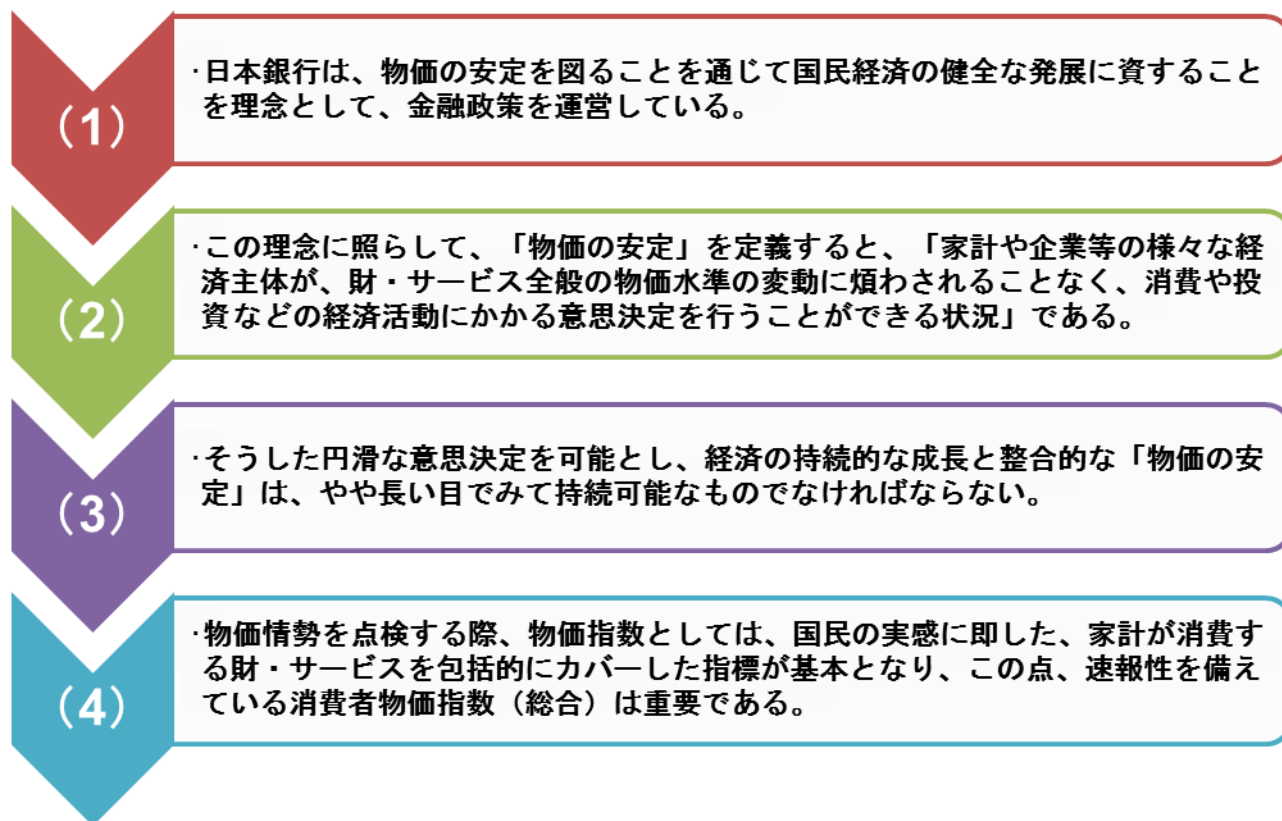
企業間で取引される財の価格動向を示すもの。農林水産物や工業製品だけでなく、鉄鉱石や石油などの原材料や、工作機械も含まれる。日本銀行が作成している。

GDPデフレーター

家計だけでなく、政府や企業にとっての物価(公共投資や設備投資)も含めた価格動向を示すもの。CPIやCGPIは輸入品も含むのに対し、GDPデフレーターは国内生産品だけを対象とする。内閣府が公表しているGDP統計の一部である。

参考：『物価 古今東西 第1回 物価の種類～代表的な物価指数～』2013年4月号、農林中金総合研究所、竹光大士
『消費者物価指数のしくみと見方～平成22年基準消費者物価指数～』、総務省統計局、2011年8月
『よくわかる経済指標「GDPデフレーター」』、日本経済研究センター、経済調査部 新家義貴
『気になる指標「GDPデフレーター」～総合的な物価の動きを示す指標～』2005年7月号、農林中金総合研究所、木村俊文
SMBC日興証券HP、2014年9月25日閲覧
(<https://www.smbcnikko.co.jp/terms/eng/g/E0044.html>)

図表 2：日本銀行の「物価の安定」についての考え方

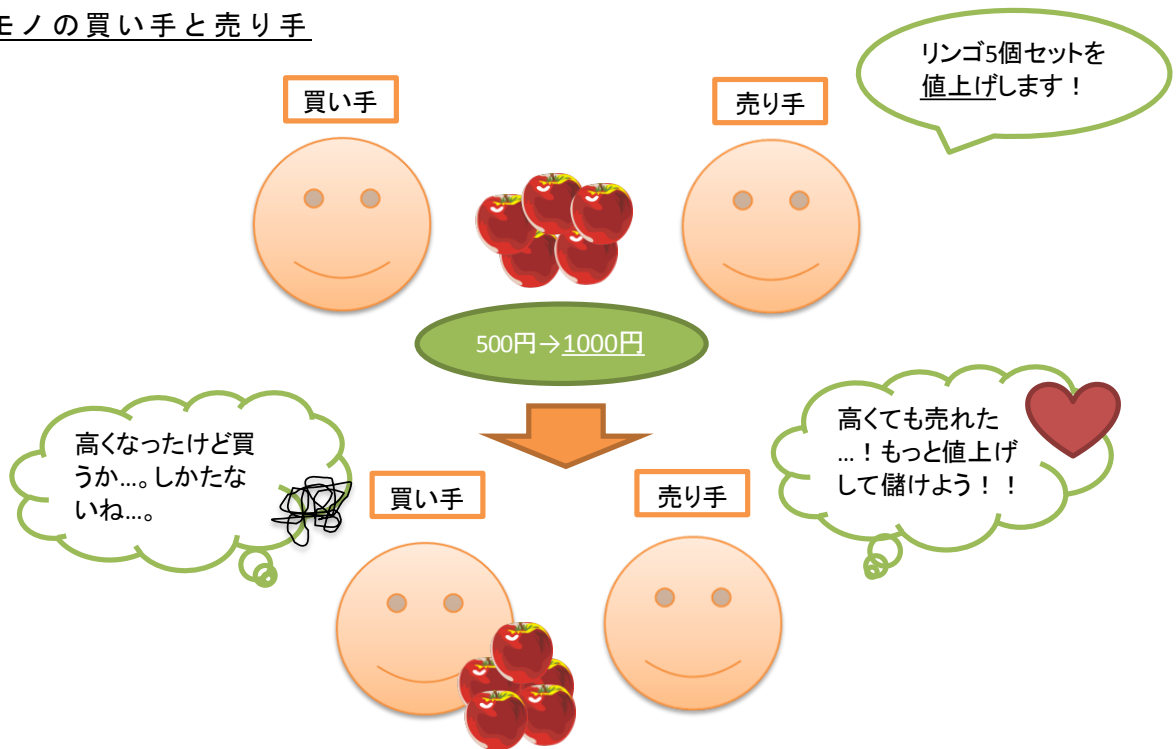


出典：日本銀行 HP 「教えて！にちぎん」、2014年9月26日閲覧

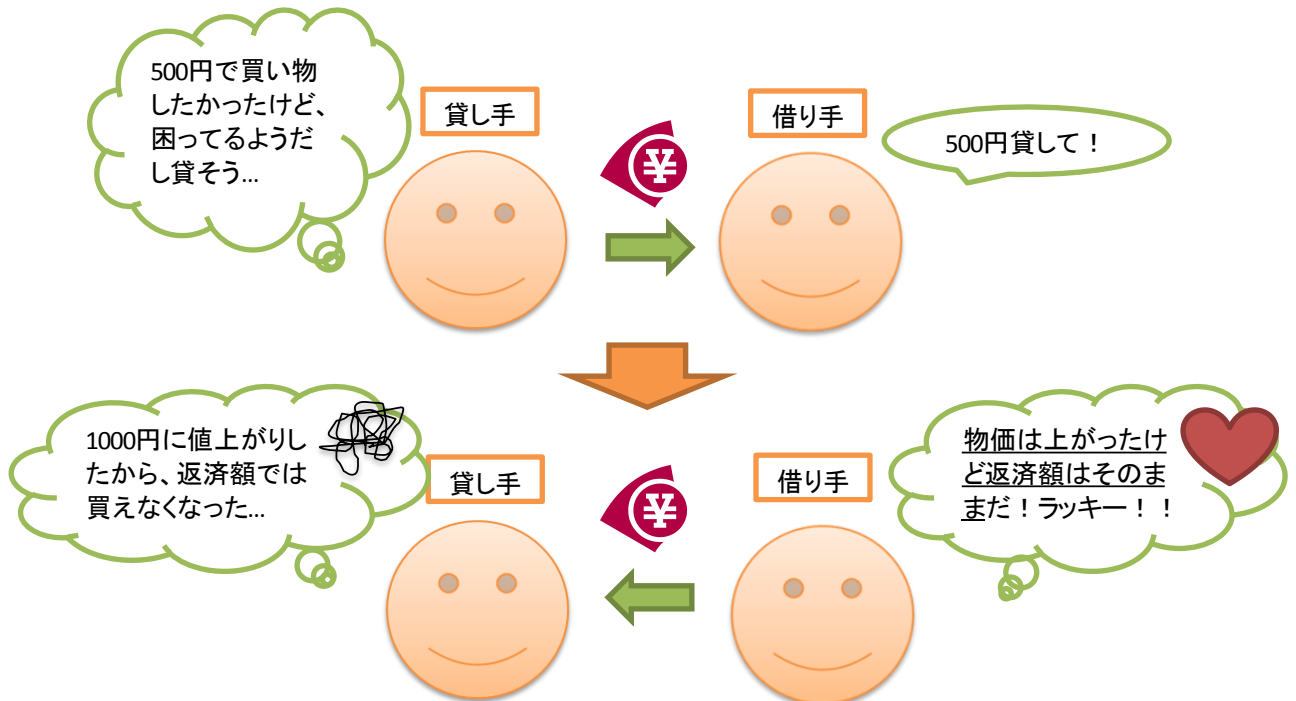
(<http://www.boj.or.jp/announcements/education/oshiete/seisaku/b29.htm/>)

図表 3：インフレーションで得をするのは？

* モノの買い手と売り手



* お金の貸し手と借り手

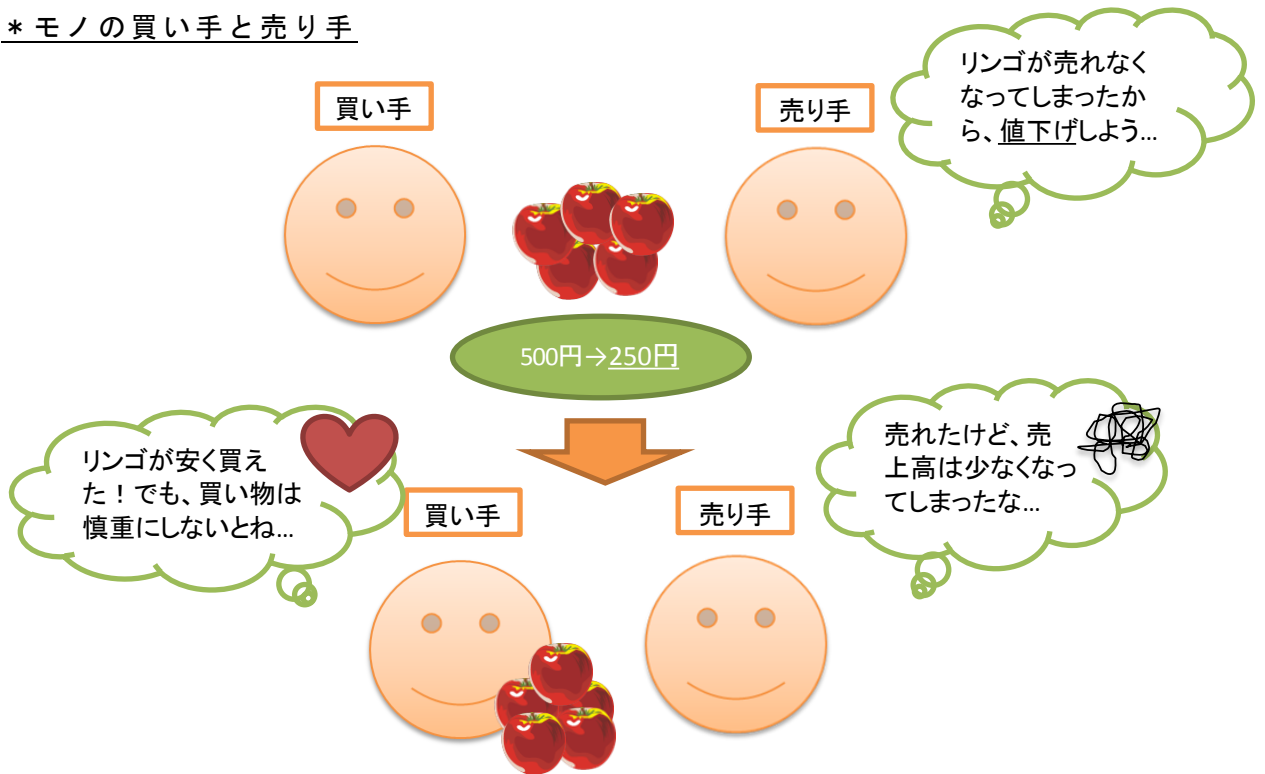


参考：man@bow 経済について楽しく学べる!!、2014年9月26日閲覧

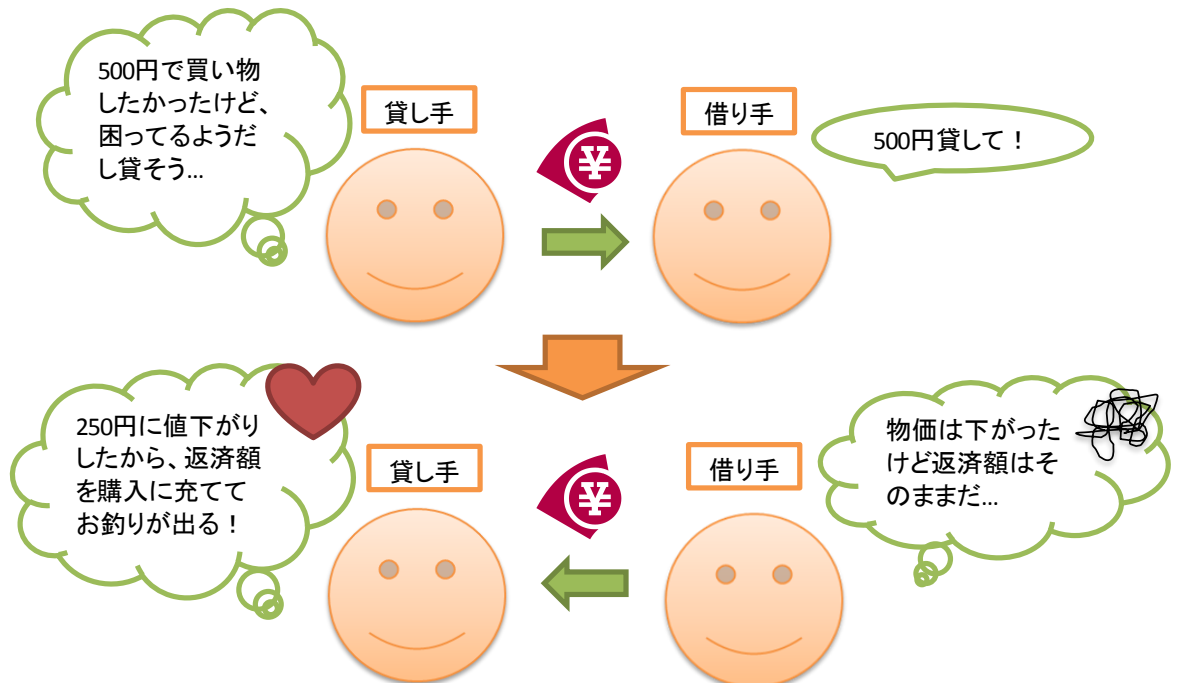
(<http://manabow.com/index.html>)

図表 4：デフレーションで得をするのは？

* モノの買い手と売り手



* お金の貸し手と借り手

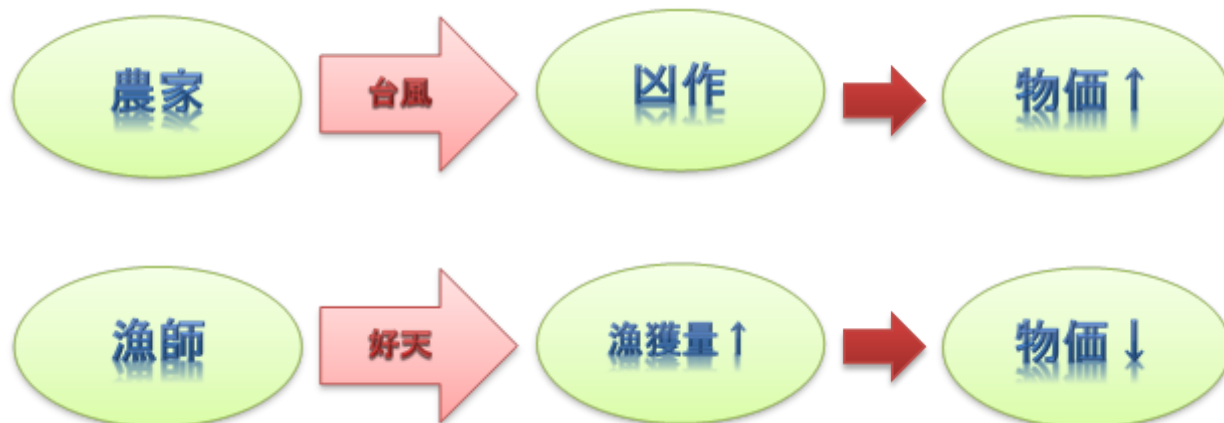


参考：man@bow 経済について楽しく学べる!!、2014年9月26日閲覧

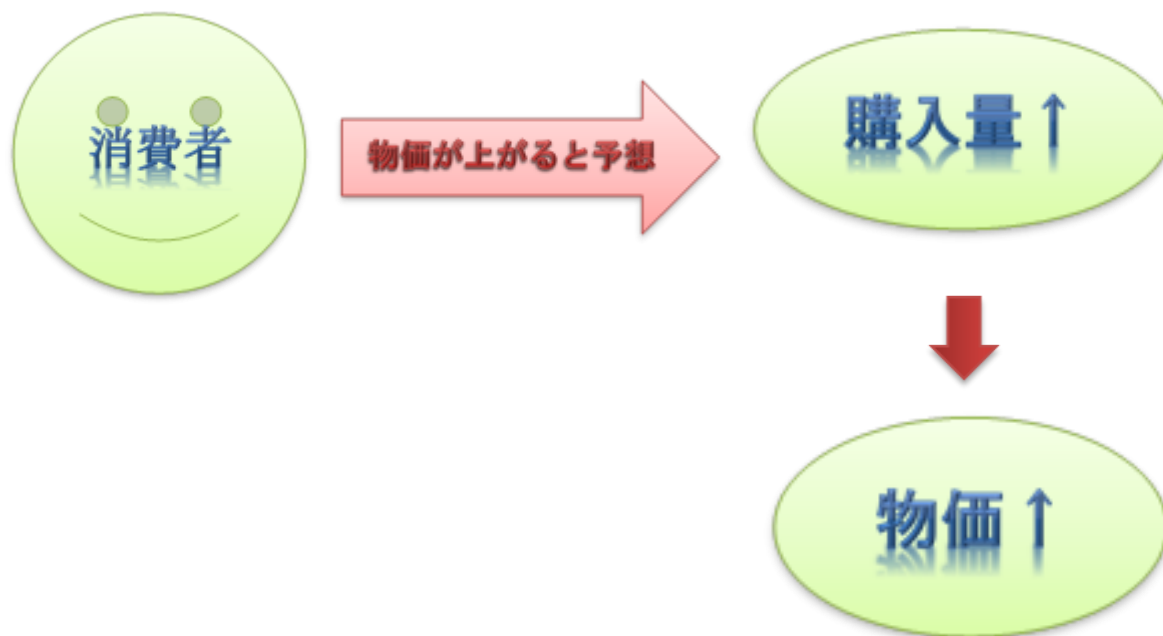
(<http://manabow.com/index.html>)

図表 5：諸要因による物価変動①

* 生産者



* 消費者

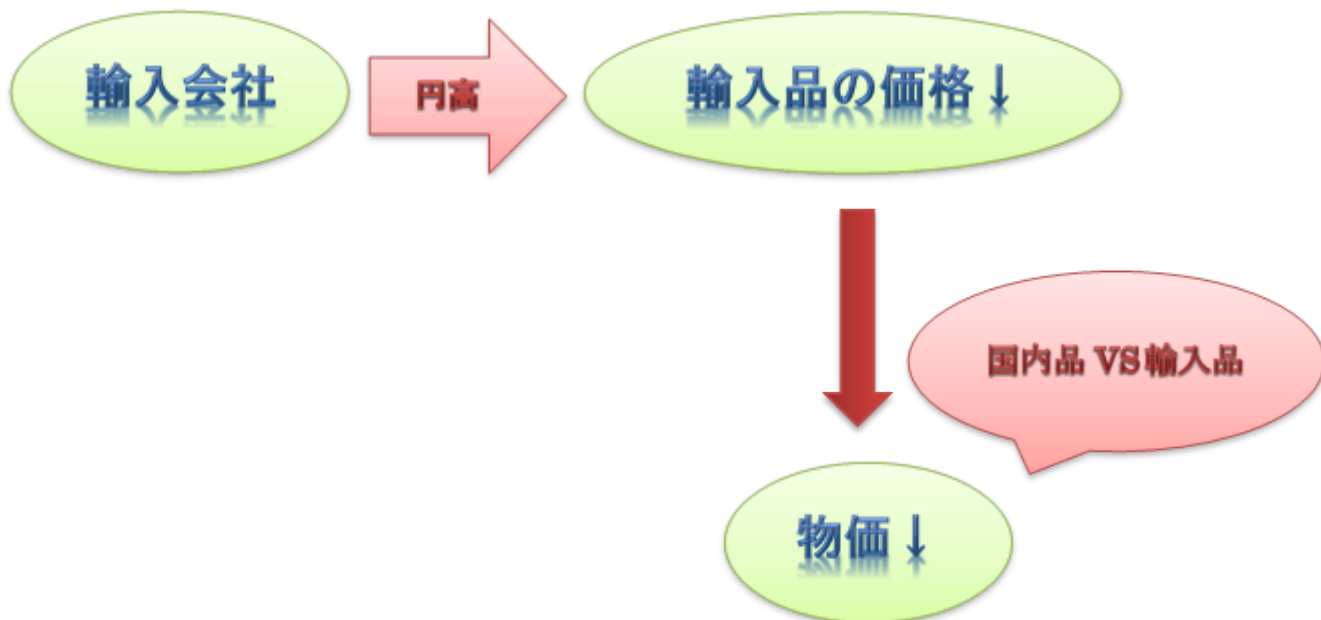


(※物価が下がると予想すれば、購買意欲は減り、物価も下落する)

筆者作成

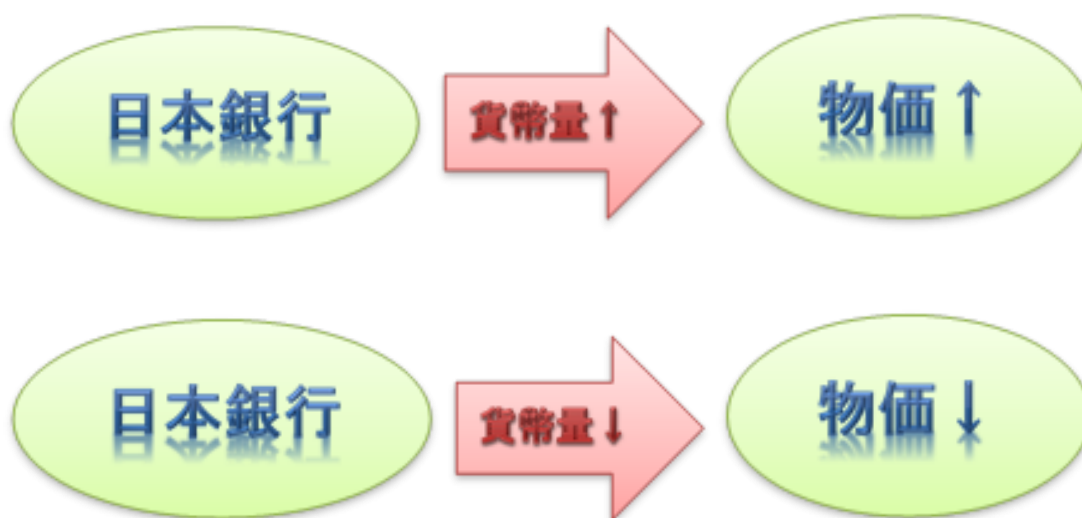
図表 6：諸要因による物価変動②

* 交易



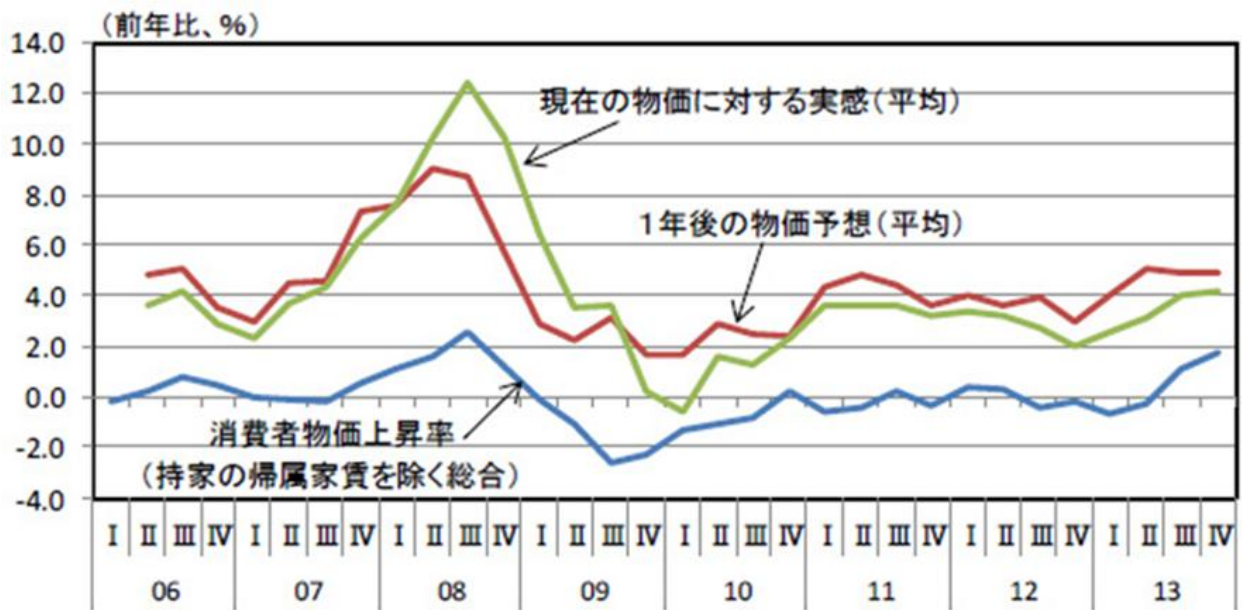
(※円安の場合、逆に輸入品の価格が上がるため、物価↑)

* 貨幣量



筆者作成

図表 7：物価に対する実感と予測のグラフ

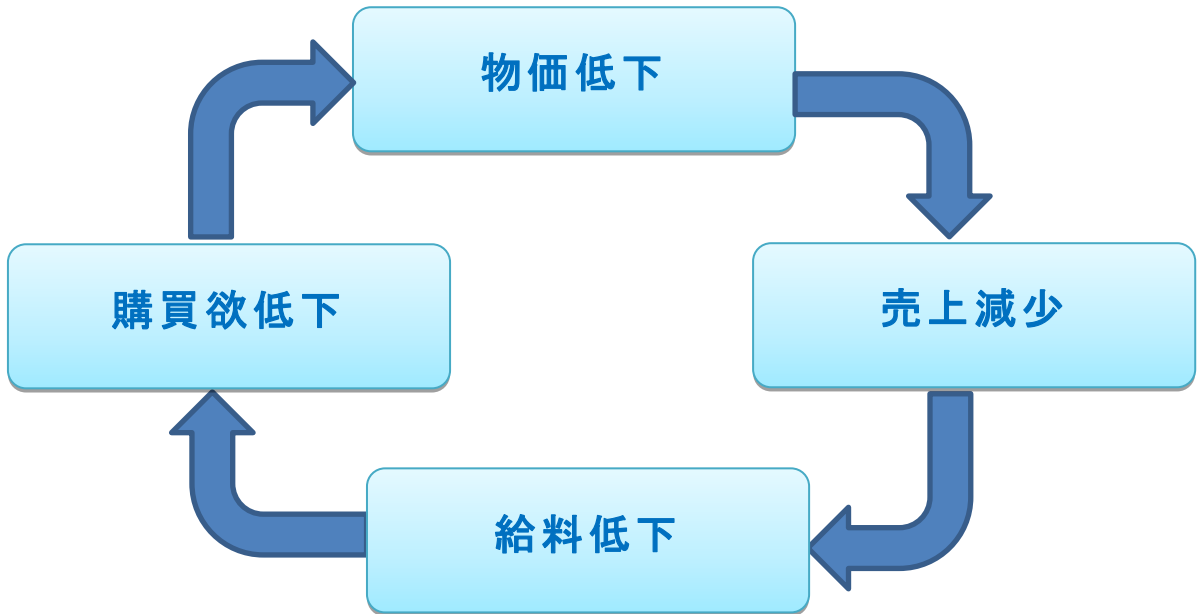


出典：『「期待インフレ率」の性格 その特性を解明・把握するのは難しい』、
『日経ビジネスオンライン』 2014年3月24日掲載

(<http://business.nikkeibp.co.jp/article/opinion/20140314/261151/>)

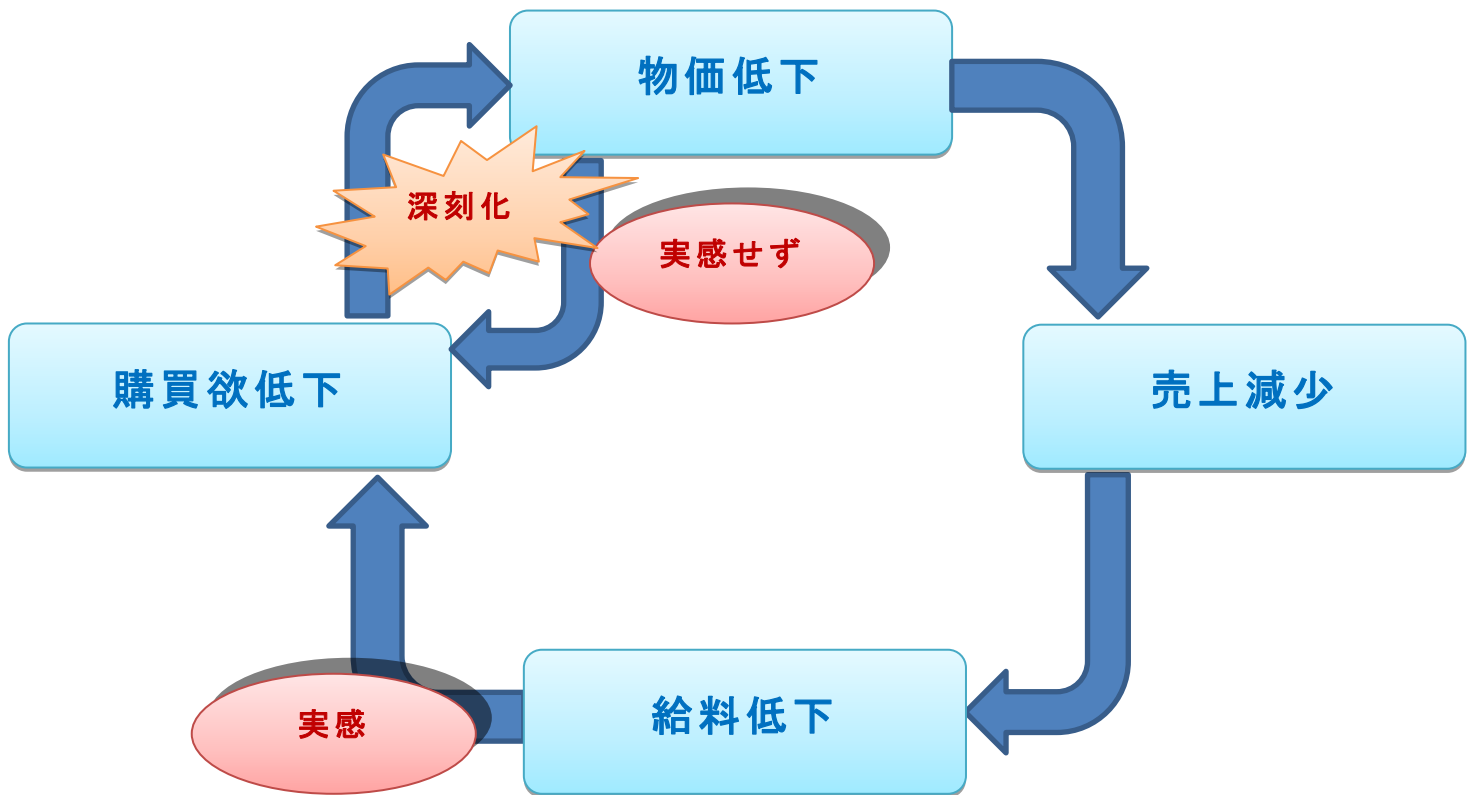
(備考：日本銀行「生活意識に関するアンケート調査」、総務省「消費者物価指数」により作成された。)

図表 8：通常のデフレスパイラル



筆者作成

図表 9：認識のズレから生じるデフレスパイラルの深刻化



筆者作成

図表 10：アクティビティの流れ



筆者作成

図表 11：キッズニアとは

キッズニアとは8歳から15歳の子供を対象とした職業体験のできるテーマパークのこと。もともとはメキシコで人気となった施設で、日本では2006年10月に「キッズニア東京」が開業した。日本には「キッズニア東京」の他に、「キッズニア甲子園」がある。

キッズをかせいだり、貯めたり、使ったり。

キッズニアでは「キッズ」という単位のお金が使われています。仕事をした人がお給料として受け取るのも、このキッズ。キッズを使ってお買い物をしたり、運転免許証をとったり、レンタカーでドライブを楽しめます。銀行に預金すれば、キッズニアのATMからキャッシュカードで引き出すことも。かせいで、貯めて、使って、経済のしくみを楽しく学べます。





キッズニアでは、各パビリオンで働くことで「キッズ」という専用通貨を受け取ることができる。「キッズ」を使って買い物をするなど、実社会と同じような体験を得ることができる施設として注目されている。キッズニアは大人の注目も集めており、開業以来、多くの入場者数を記録している。



参考：キッズニア HP、2014年9月26日閲覧
(<https://www.kidzania.jp/>)

図表 12：キッズニアの主なアクティビティ

* キッズを受け取るアクティビティ

お仕事名	人数	体験時間	キッズ	体験の様子
キャビンアテンダント	5名	50分	8キッズ獲得	
<p>初回のみ体験時間が約半分の20分。2回目からは先にお客さん役をやってからお仕事をする。2名がブレザー衣装で安全運航の説明、3名がエプロン衣装で機内食をサーブする。</p>				
お仕事名	人数	体験時間	キッズ	体験の様子
パイロット	8名	25分	8キッズ獲得	
<p>フライトシュミレーターでバーチャル操縦を行う。自分の実力に合わせて難易度を変更することができるので、上級を目指して頑張れるようなアクティビティとなっている。</p>				

* キッズを使用するアクティビティ

お仕事名	人数	体験時間	キッズ	体験の様子
ソフトクリーム屋	4名	10～15分	10キッズ使用	
<p>お仕事としては例外的に体験時間が短くしかもキッズを払うアクティビティ。ソフトクリームを絞り出し、トッピングして食べられる。しかし、期間によってはトッピングなしのこともある。体験時間は確かに短いですが、食べるのに手間取ると意外に時間がかかることがある。</p>				
お仕事名	人数	体験時間	キッズ	体験の様子
デパート	-	-	約50～50000キッズ使用(変動有)	
<p>お客様となってキッズを使い好きなものを買うことができる。人気の商品は60キッズの消しゴムや50キッズのおもちゃなど、比較的安いものである。他にも90キッズのハンカチ、100キッズのボールペンや、中には10000キッズもする地球儀もある。</p>				

参考：キッズニア HP、2014年9月29日閲覧

(<https://www.kidzania.jp/>)

図表 13 : キッザニア(東京)のフロアマップ(1階)



- ① 飛行機 ② ハンバーガーショップ ③ バナナハウス ④ エコショップ ⑤ イベントスペース ⑥ 料理スタジオ ⑦ 食品開発センター ⑧ ボトリング工場 ⑨ お菓子工場 ⑩ 科学研究所 ⑪ ベーカリー ⑫ テレビ局 ⑬ 劇場 ⑭ パレードウエディングセレモニー ⑮ ソフトクリームショップ ⑯ ファッションブティック ⑰ マジックスタジオ ⑱ ピザショップ ⑲ 住宅建築現場 ⑳ 建設現場 ㉑ 警察署 ㉒ 裁判所 ㉓ カーデザインスタジオ ㉔ 運転免許試験場 ㉕ レンタカー ㉖ カーライフサポートセンター ㉗ ガソリンスタンド ㉘ キッザニアの森 ㉙ おしごと相談センター ㉚ ビューティーサロン ㉛ エネルギー会社 ㉜ 歯科医院 ㉝ クライミングビルディング/キーメンテナンス ㉞ クライミングビルディング/クライミング ㉟ 観光バス ㊱ デパート ㊲ 電子マネーセンター ㊳ 携帯電話ショップ ㊴ トラベルセンター ㊵ フォトスタジオ ㊶ 新聞社 ㊷ ジューススタンド ㊸ 病院(出口) ㊹ 商店街/花屋 ㊺ 商店街/はんこ屋 ㊻ 商店街/画材屋 ㊼ 理容店 ㊽ 銀行 ㊾ 宅配センター ㊿ 警備センター ① 消防署

参考 : キッザニア HP、2014年9月30日閲覧(<https://www.kidzania.jp/>)

図表 14：キッズニア(東京)のフロアマップ(2階)



71 ラジオ局 72 サッカースタジアム 73 絵の具屋 74 筆記具屋 75 名刺屋 76 メガネショップ 81 印刷工房 82 発明工房 83 動物病院 84 出版社 85 ミルクハウス 86 証券会社 87 CM スタジオ 88 街時計 89 病院 90 スポーツクラブ


参考：キッズニア HP、2014年9月30日閲覧
(<https://www.kidzania.jp/>)

図表 15：日本銀行が行っている金融教育の取り組み

小学校高学年以上	中学生以上	高校生以上
<ul style="list-style-type: none">・ Webサイト：にちぎん☆キッズ・ Webサイト：バーチャル見学ツアー	<ul style="list-style-type: none">・ 中学公民・指導用教材：「日本銀行」と私たちの暮らし・ 教育広報ビデオ：「お札と探検！日本銀行・ 小・中学生向け広報用パンフレット：「おしえて！日本銀行」・ Webサイト：Quizで学ぼう！日本銀行・ パンフレット：「お金の話あれこれ」	<ul style="list-style-type: none">・ 広報ビデオ：「くらしとつながる日本銀行」・ 広報パンフレット：「日本銀行 その機能と組織」・ Webサイト：教えて！にちぎん・ 『日本銀行の機能と業務』（金融研究所ホームページ）・ 学生向けコンテスト：日銀グランプリ（大学生向け）

参考：日本銀行 HP、2014 年 9 月 29 日閲覧
(<http://www.boj.or.jp/>)

図表 16：キッザニア HP 用アクティビティ説明



物価変動体感アクティビティ

○月△日～○月×日までの間、キッザニア内にて各アクティビティのキッズ獲得額、使用額が変動します。これはこの期間中に高校生たちに物価について学んでもらう、日銀主催の「物価変動体感アクティビティ」を実施するためです。その間にご来場されたお客様にはボーナス〇〇キッズを配布します。また、世の中の物価について簡単に楽しく学ぶことができる、小学生向けおまけアクティビティも用意しており、この期間中のみ行いますので、是非ご参加下さい。

筆者作成

図表 17：アクティビティのスケジュール

	キッザニア内の価格	キッザニアの子供たち	日銀	高校生
1日目	キッズを使う際の価格 → キッズを貰う際の価格 →	・通常物価のもとに行動 ・おまけアクティビティ	・全体学習 ・物価学習	・全体学習 ・物価学習 ・自己紹介と交流
2日目	キッズを使う際の価格 ↑ キッズを貰う際の価格 →	・変動物価のもとに行動 ・おまけアクティビティ	・レポートのサポート	・レポート作成と分析
3日目	キッズを使う際の価格 ↑ キッズを貰う際の価格 ↑	・変動物価のもとに行動 ・おまけアクティビティ	・レポートのサポート	・レポート作成と分析
4日目	キッズを使う際の価格 → キッズを貰う際の価格 ↑	・変動物価のもとに行動 ・おまけアクティビティ	・レポートのサポート	・レポート作成と分析
5日目	キッズを使う際の価格 → キッズを貰う際の価格 →	・通常物価のもとに行動 ・おまけアクティビティ	・レポートのサポート	・レポート作成と分析
6日目	キッズを使う際の価格 → キッズを貰う際の価格 →	・通常物価のもとに行動 ・おまけアクティビティ	・審査 ・日銀見学	・発表 ・日銀見学

筆者作成

図表 18：アクティビティ期間中の価格変動の具体案

	価格の変動	キャビンアテンダント (キッズを貰う)	ソフトクリーム店 (キッズを使う)	消しゴムの購入 (キッズを使う)	地球儀の購入 (キッズを使う)
1日目	使う → 貰う →	8キッズ	10キッズ	60キッズ	10000キッズ
2日目	使う ↑ 貰う →	8キッズ	15キッズ	90キッズ	15000キッズ
3日目	使う ↑ 貰う ↑	12キッズ	15キッズ	90キッズ	15000キッズ
4日目	使う → 貰う ↑	12キッズ	10キッズ	60キッズ	10000キッズ
5、6日目	使う → 貰う →	8キッズ	10キッズ	60キッズ	10000キッズ

キッズニア内でのアクティビティで貰うキッズ、使うキッズの平均はそれぞれ 8 キッズであり、他には 5 キッズ、10 キッズのアクティビティが設けられている。私たちは価格変動の具体案として、使う場合のキッズ、貰う場合のキッズをそれぞれ、もしくは共に、50%増加させる係数を考えた。この表は、代表的なアクティビティにおける、価格変化を求めたものである。

キッズニア東京へのインタビューにより筆者作成

図表 19：日本銀行が行う見学会

本店見学

- ・重要文化財に指定されている本館(旧地下金庫エリア、旧営業場、史料展示室)および新館(営業場)等を見学できる。
- ・一般見学(対象：小学5年生以上)
- ・レクチャー付見学(対象：大学生以上)：「日本銀行の仕事」、「日本銀行本店本館の建物」、「貨幣博物館が語る貨幣の歴史」いずれかのレクチャー

日銀春休み親子見学会

- ・対象：小学校4年生～6年生および中学生と、その保護者
- ・内容内容：広報ビデオ上映、本店見学、クイズ・質問コーナー、体験学習「お札のヒミツ」

日銀夏休み子ども特別見学会

- ・プログラムA
 - ・対象：小学校4年生～6年生および中学生と、その保護者
 - ・内容：春休みの見学会と同じ
- ・プログラムB
 - ・対象：中学生のみ
 - ・内容：広報ビデオ上映、本店見学、体験学習「金融政策を決めるのは君だ！」

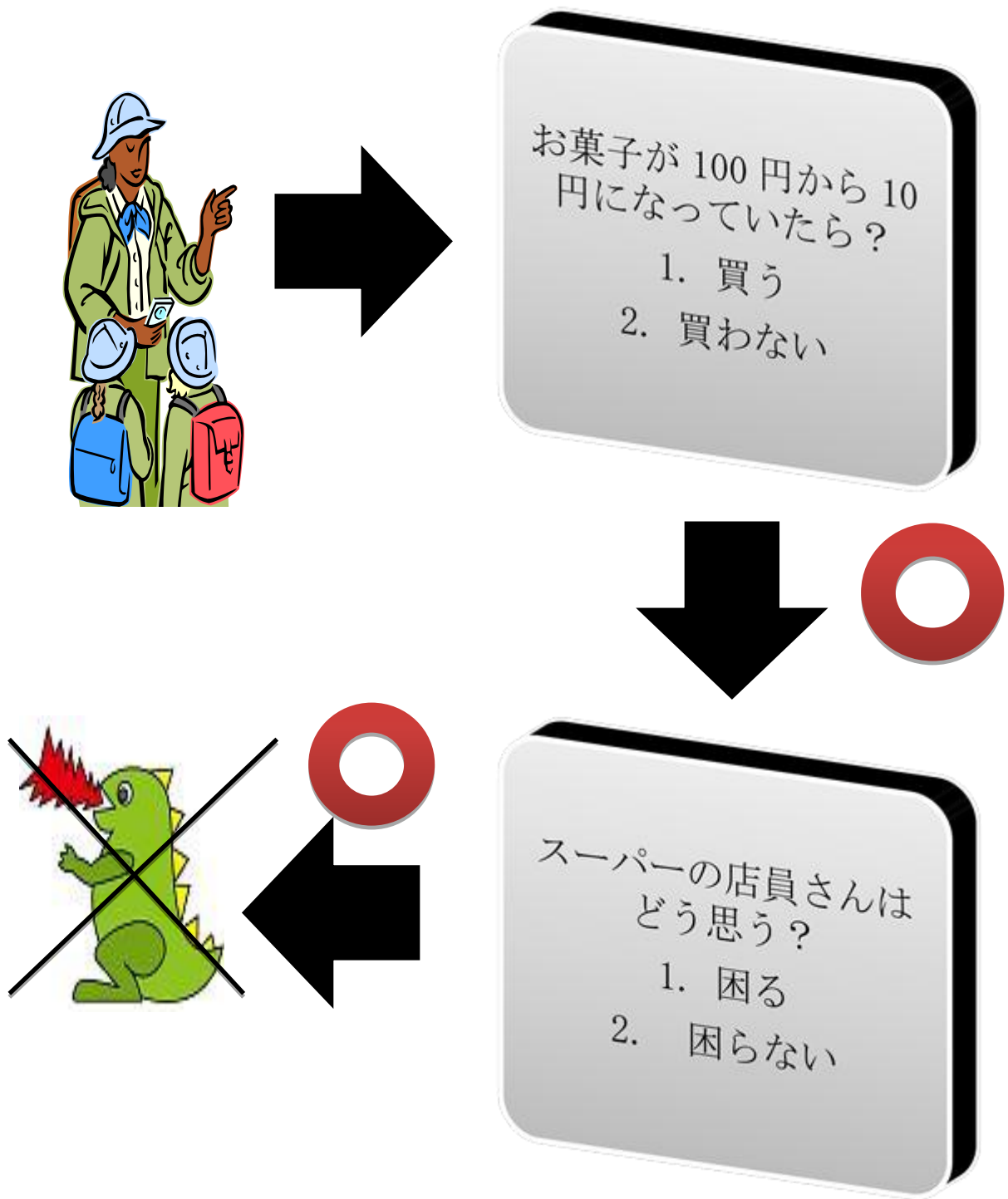
にちぎん体験(毎年10月下旬～11月上旬開催)

- ・レクチャー付き見学ツアー：「日本銀行の仕事」について
- ・ミニ見学付き市民講座：「お札の一生と日本銀行」、「中小企業を支える金融の役割」、「日本のお金1300年の歴史」等
- ・企画展
- ・貨幣博物館見学

参考：日本銀行 HP、2014年9月29日閲覧

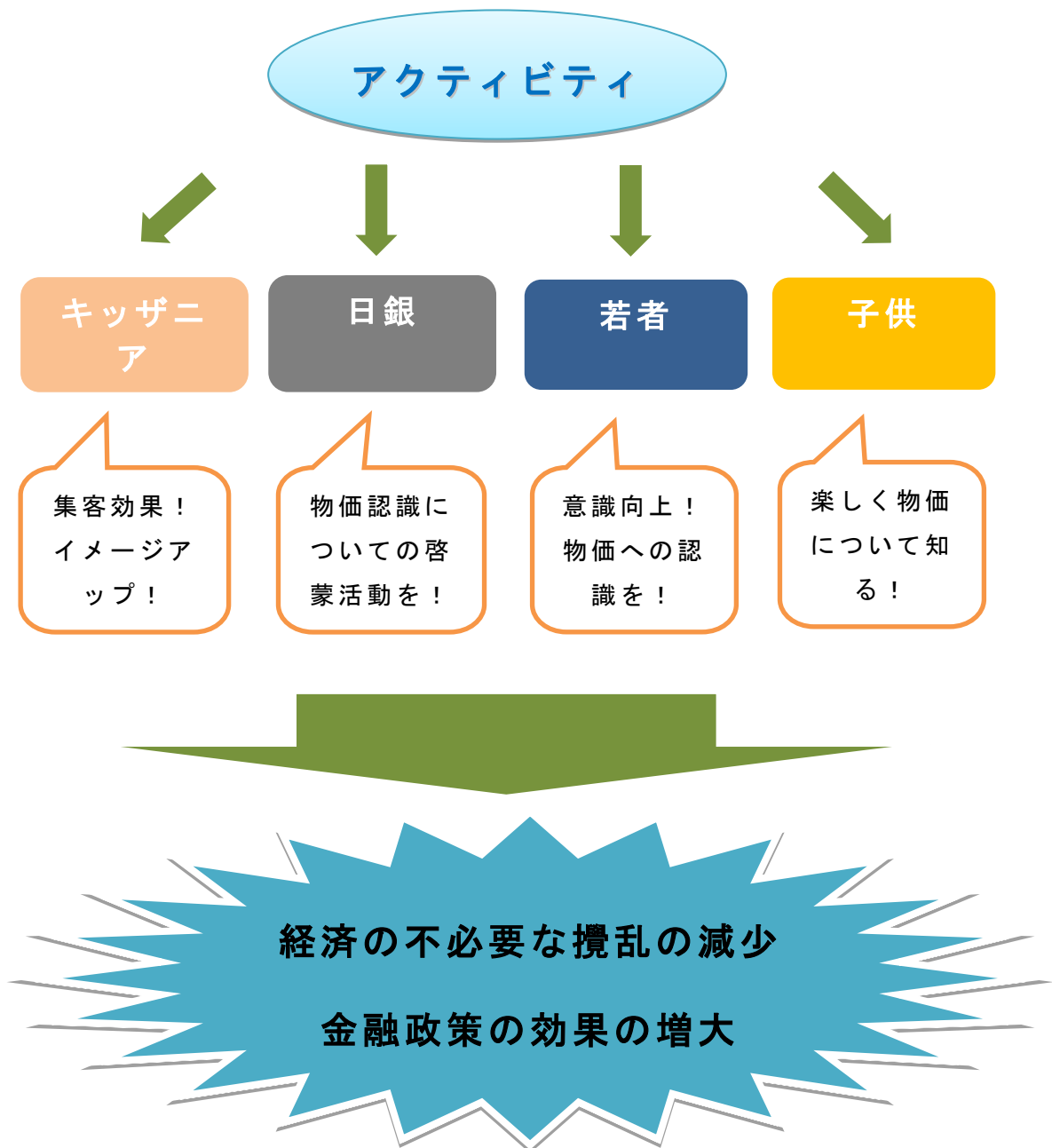
(<http://www.boj.or.jp/>)

図表 20 : 「おまけアクティビティ」



筆者作成

図表 21：提案に期待される効果



筆者作成